

## コロナ禍で変化した採用市場に対応できていますか

マスクを着けて外出をするのは当たり前、テレワーク、時差出勤、WEB 会議など、この 1 年間で働く環境は大きく変化しました。また、コロナの影響により急激に変動した業界もあり、社員の働くことへの優先順位や価値観が大きく変化致しました。

このように大きく世の中が変化しているときは、求職者へのマインド変化に対応できるかが重要になります。

採用情報や求人方法も変化できておりますでしょうか。今回は、コロナ禍で変化した採用市場への対応方法について現状の求職者の考え方を踏まえ今後の打ち出すべき事についてお伝えさせていただきます。

### 【採用市場の変化について】

まず、採用市場の状況を見る上で見るべきものは求人倍率です。業績の厳しい会社様も増えており、2020 年 12 月の有効求人倍率は 1.06 倍、2019 年 12 月は 1.57 倍ですので大きく下がっております。(厚生労働省)つまり、雇用が回復傾向になっているとは言えません。

しかし、パーソルキャリア(株)発表の 2021 年 1 月の転職求人レポートではこのように書いてあります。

全体の転職求人倍率は 1.83 倍、求人数、転職希望者数ともに増加してきたものの、転職希望者の増加の方が大きく求人倍率は低下と書かれております。

つまり、転職者は増えているが、求人を掲載する会社は減っているということです。

有効求人倍率を参考にみると求人数は減少、求職者は増加。つまり、求職者にとって掲載企業は減少の為、不利な状況であるが、採用意欲のある会社にとっては求職者が増えてきておりチャンスがあると言えます。

なお、職種別にも掲載されていますので、自社の採用の難易度の目安として参考になりますので「転職求人倍率」で調べてみてください。

### 【求職者の変化について】

求職者の意識の変化として、下記のように、コロナ前とコロナ後の転職者の転職理由が変化しております。

※パーソルキャリア(株)

＜コロナ前転職理由＞

- ① 他にやりたい仕事がある
- ② 会社の将来が不安
- ③ 自身のスキルを上げたい
- ④ 勤務地を変更したい(転勤したくない)
- ⑤ 給与に不満がある
- ⑥ 顧客の為になる仕事をしたい
- ⑦ 昇進ができない

＜コロナ後転職理由＞

- ① 会社の将来が不安
- ② 顧客のためになる仕事がしたい
- ③ 他にやりたいことがある
- ④ 給与に不満がある
- ⑤ 業界の先行きが不安
- ⑥ 働き方を見直したい
- ⑦ 専門知識・技術力を習得したい

このように求職者が会社を選ぶ基準も変化しています。

- 1) 会社や業界の先行きに未来のある会社
- 2) テレワーク等働き方に柔軟に対応できている会社
- 3) 専門知識や技術力などを身に付け、専門性を高められる会社

### 【ポイントは「安心」と「安定」】

採用意欲のある会社様に意識して頂きたいのは

- ・未来を打ち出す(安心)
- ・働き方を打ち出す(安心)
- ・専門性を打ち出す(安定)
- ・同業他社との違いを打ち出す(安定)

を伝えてみてはいかがでしょうか。

企業有利だから、とりあえずハローワークに求人を出そうではダメです。意識が高い求職者ほど、転職活動を求人媒体にて活動を開始しています。今まで以上に採用市場が厳しいことも知っており、かつ安心と安定への意識を高く持っています。

企業側は採用情報をリニューアルし、求職者へ伝える努力をする為の変化が必要となります。

採用も時代の変化に対応してこそ成功します。